

**2017年2月19日大統領・国会議員選挙  
及び4月2日大統領選挙決選投票関連  
(2017年3月エクアドル内政 別紙)**

**1. 大統領及び副大統領選挙関連**

(1) 2017年大統領選挙及び国民投票(国家選挙審議会による開票率100%の公式発表)

3月6日、国家選挙審議会(CNE)は、2月19日に実施された大統領及び副大統領選挙及びタックス・ヘイブンに関する国民投票の公式結果を発表した。

右発表を以て、大統領及び副大統領選挙第一回投票及びタックス・ヘイブンに関する国民投票の結果は確定したこととなった。これをもって、大統領選挙においては上位1位と2位の候補が決選投票に向かうこととなった。他方で、国会議員選挙については、異論の提示が行われたため、CNEの公式発表は(3月末時点で)未だ行われていない。

CNE及び選挙裁判所(TCE)に対し、政治団体が異論の提示ができる期間が終了し、且つ(大統領及び副大統領第一回選挙及びタックス・ヘイブンに関する国民投票については)その数字について異議申し立てが無かったところ、CNEは民主主義法(Codigo de Democracia)第161号に基づき、同選挙及び国民投票に関する公式結果(開票率100%)の各大統領候補の得票数及び得票率に関する結果及び開票率100%のタックス・ヘイブンに関する国民投票の結果を確定した。

(各大統領候補の得票数及び得票率)

- ① レニン・モレノ候補(与党AP): 39.36%(3,716,343票)
  - ② ギジェルモ・ラソ候補(CREO・SUMA): 28.09%(2,652,403票)
  - ③ シンティア・ビテリ候補(PSC): 16.32%(1,540,903票)
  - ④ パコ・モンカヨ候補(「改革のための国民合意」運動(左派民主党、国民連合党、パチャクティック党の連立)): 6.71%(634,033票)
  - ⑤ アブダラ・ブカラム・プジェイ候補(フェルサ・エクアドル党): 4.82%(455,187票)
  - ⑥ イバン・エスピネル候補(フェルサ・コンプロミソ・ソシアル党): 3.18%(299,840票)
  - ⑦ パトリシオ・スキランダ候補(愛国社会党): 0.77%(72,679票)
  - ⑧ ワシントン・ペサント候補(ユニオン・エクアトリアーナ党): 0.75%(71,107票)
- 白票: 2.73%(286,069票) ○無効票: 7.04%(736,743票)

(国民投票の質問内容)

第1条: エクアドル人及び選挙権を持つ外国人居住者に対し、次の問いに答えるための国民投票を呼びかける。

「あなたは、公職選挙の結果を受けた職務を担うため、また公職に就任するため、タックス・ヘイブンに財、資産を如何なる性質のものも持つことを禁止することに賛成ですか?

このために、本国民投票の最終的な結果の発表から1年の間に、国会は、エクアドル国民の過

半数の決定に適應するように、公職法(Ley Organica de Servicio Publico)、民主主義法(Codigo de Democracia)、及びその他の適切な法律を改正する。右期間内に、タックス・ヘイブンに如何なる性質の財、資産を持つ公職者は、国民の決定に従わなければならない、その不履行は罷免の原因となる。                    はい                    いいえ                    」

第2条:必要な手続きのため、本命令をCNE及び憲法裁判所に伝達すること。

第3条:国民投票実施に必要な財源を割り当てるため、本命令を財務省に伝達すること。

回答(有効票のみ)

はい 55.12%

いいえ 44.88%

(2)3月22日、ロサナ・アルバラド国会議員(与党 AP 所属)は、民間世論調査会社 CEDATOS 社を文書偽造等の疑いで検察庁に告発した。アルバラド議員は「大統領候補の1人に有利となるような情報操作を行った」と述べ、CREO-SUMA から立候補したラソ大統領候補と CEDATOS 社との間で金銭の授受があった可能性を示唆した。これに対して CEDATOS 社のコルドバ社長は同告発を CEDATOS 社の信用を毀損するものであると述べて否定し、アルバラド議員を訴えると発表した。

## 2. 世論調査結果

(1)世論調査会社 perfiles de Opinion の世論調査(3月11日実施分)結果

3月15日付エル・テレグラフィ紙(政府系)電子版は、決選投票における次期大統領候補への支持率に関する Perfiles de Opinion 社(政府系と言われる。)の世論調査結果を報じた。

### ●世論調査実施概要

2017年3月11日に実施。

23県に於いて、6,000人を対象に実施。

### ●世論調査結果

投票先を決めていない人の割合:12.66%

### ●各候補者への支持率

ア レニン・モレノ 51.02%

イ ギジェルモ・ラソ 35.53%

ウ 白紙・無効 13.45%

### ●地方別の支持率

ア シエラ(山岳部)

① モレノ候補 48.71%

② ラソ候補 37.06%

イ コスタ(沿岸部)

① モレノ候補 53.40%

② ラソ候補 33.68%

ウ アマゾン地方

① モレノ候補 43.76%

② ラソ候補 43.89%

●論評

パウリーナ・レカルデ Perfis de Opinion 社ディレクターは、モレノ候補の支持が高いことについて、第一回投票において山岳部と沿岸部において多くの得票があり、国会でも過半数の議席を占めるモレノ候補の「勝者としてのイメージ像」が要因の一つであろうと述べた。また、他の野党陣営を中心に、ラソ候補の方が協力体制を構築できていると分析しつつ、右は必ずしも得票を保證するものではない旨述べた。

(2)世論調査会社 Cedatos の世論調査(3月11～14日実施分)結果

3月17日付エル・コメルシオ紙電子版等は、決選投票における次期大統領候補への支持率に関する Cedatos 社(傾向としては反政府(反コレア)系)の世論調査結果を報じた。

●世論調査実施概要

2017年3月11～14日に実施。

23県に於いて、2,817人を対象に実施。

●世論調査結果

(※前月比は、同社が2017年2月23,24日に実施した世論調査結果との比較。)

投票先を決めていない人の割合:18.2%(前月比:-0.8%)

各候補者への支持率(無効票を含むもの)

ア レニン・モレノ 42.8%(前月比:+1.6%)

イ ギジェルモ・ラソ 44.2%(前月比:-0.6%)

ウ 白紙・無効 13.0%(前月比:-1.0%)

各候補者への支持率(有効票のみ)

ア レニン・モレノ 49.2%(前月比:+1.3%)

イ ギジェルモ・ラソ 50.8%(前月比:-1.3%)

コレア大統領による陸軍幹部の更迭(往電第328号)の賛否

ア 賛成 27.7%

イ 反対 62.8%

ウ 事案を知らない/未回答 9.5%

(3)大統領選挙決選投票:主要世論調査会社4社の世論調査最終結果

3月22日付エル・ウニベルソ電子版は、大統領選挙決選投票に関する世論調査について、世論調査結果及び選挙予想の公表可能期間の満了日までに発表された世論調査会社4社の最新世論調査の結果を報じた。

なお、世論調査結果及び選挙予想の公表可能期間については、第一回投票時同様、民主法の規定により、選挙日の10日前迄(決選投票に向けては3月22日23時59分迄)となっている。

●Opiniones Publica Ecuador 社

2017年3月11～12日に実施。

対象:1,885人

決選投票でどの候補に投票するか。

ア モレノ候補 46.5%

イ ラソ候補 34.4%

ウ 白紙・無効等 19.10%

●Perfiles de Opinion 社

(1)2017年3月17～19日に実施。

(2)対象:2,032人

(3)決選投票でどの候補に投票するか。

(※前回比は、同社が2017年3月11日に実施した世論調査結果との比較。)

ア モレノ候補 49.37%(前回比:-1.65%)

イ ラソ候補 36.35%(前回比:+0.82%)

ウ 白紙・無効等 14.28%(前回比:+0.83%)

●Market 社

(1)2017年3月19～20日に実施。

(2)対象:2,240人

(3)決選投票でどの候補に投票するか。

ア モレノ候補 48.9%

イ ラソ候補 45.0%

ウ 白紙・無効等 6.1%

●CEDATOS 社

(1)2017年3月18～21日に実施。

(2)対象:4,476人

(3)決選投票でどの候補に投票するか。

(※前回比は、同社が2017年3月11～14日に実施した世論調査結果との比較。)

ア モレノ候補 45.70%(前回比:+2.90%)

イ ラソ候補 41.58%(前回比:-2.62%)

ウ 白紙・無効等 12.72%(前回比:-0.28%)

(了)